

第4回 形原地区 まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

日 時：令和4年 12月 25日（日）
午後1時30分～午後4時30分
主 催：蒲郡市
会 場：形原中学校 多目的室 ほか

プログラム

開会	1 : 30
趣旨と経緯について ・ワークショップの趣旨・目的 ・進め方とスケジュール ・前回ワークショップでの議事概要	1 : 35
オープンハウス（パネル展示型説明会）結果概要	1 : 50
地区利用型施設再配置プラン案について ・再配置プラン案の追加 ・再配置プラン案の評価・比較	1 : 55
（休 憩）	2 : 15
グループ討議 ・評価項目の確認と修正の提案	2 : 25
発表	4 : 00
事務連絡	4 : 25
閉会	4 : 30

<目次>

・ ワークショップの趣旨・目的	1
・ 進め方とスケジュール	2
・ 第3回ワークショップの結果概要（案）	7
・ ふりかえりシートご意見	14
・ ご質問等への回答	16
・ 形原地区 再配置プラン案	23
・ 評価の視点についてのご意見への回答	26
・ 再配置プラン案の評価検証	27
・ 本日の検討内容	30

<別冊資料>

- ・ 項目ごとの評価の解説
- ・ 形原地区オープンハウス（パネル展示型説明会）結果概要

ワークショップの趣旨・目的

蒲郡市では、急激に変動する社会情勢に対応した公共施設の機能配置や魅力向上を図るとともに、将来に大きな負担を残さない行財政運営を実現するために、公共施設マネジメントの取り組みを進めています。

これまでに市民の皆様のご意見を伺い、「蒲郡市公共施設マネジメント基本方針」と「蒲郡市公共施設マネジメント実施計画」を策定し、今後の公共施設の整備を進めるための道筋を示しました。

その計画では、今後公共施設マネジメントを実施していくにあたって、蒲郡市が目指すべき方向性のイメージを示しました。



また、計画内では、小中学校、保育園、児童館及び公民館（地区利用型施設）の再編にあたっては、中学校区単位で住民の皆様のご意見を伺い、施設再編計画となる「地区個別計画」を策定することとしています。

市は、皆様のご意見を参考に形原地区の「地区個別計画」を策定し、施設の再配置を進めることで、“住んでよかった”“住み続けたい”と思えるような誇りと愛着を持てるまちづくりを目指します。

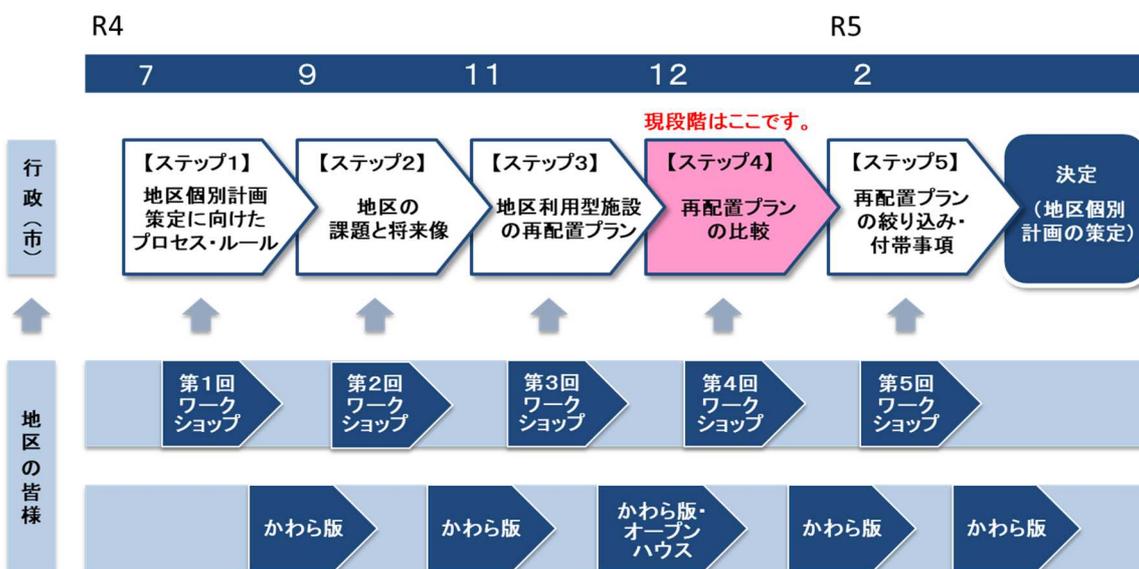
進め方とスケジュール

1 検討のステップ

市は、ワークショップ等で得られた成果をもとに、「地区個別計画」の策定に向けて次の5つのステップに分けて、段階的に検討を行います。

- ステップ1** ワークショップ等を通じ、地区個別計画をどのような手順で策定するか確認します。
- ステップ2** 地区にどのような課題があるか確認して問題意識を共有します。
- ステップ3** 課題解決に向けた方策について共有し、複数の再配置プランを検討します。更に、複数の再配置プランを比較するための評価の視点について検討します。
- ステップ4** 複数の再配置プランをステップ3で検討した視点に基づき評価し比較します。
- ステップ5** 再配置プランを絞り込むとともに、運営面での工夫等の付帯事項について整理します。

2 スケジュール（予定）



3 コミュニケーション

「地区個別計画」の策定に向けた検討では、地区の皆様と様々なコミュニケーションを進めていきます。

- ・ ワークショップ
- ・ オープンハウス（パネル展示型説明会）
- ・ かわら版



【オープンハウス（パネル展示型説明会）】

地区の住民の皆様が集まる施設などでパネルを利用し、ワークショップでのご意見や検討された再配置プランなどの内容を広報します。

どなたでも立寄ることができ、住民の皆様からワークショップで検討されている内容についてのご意見をいただきます。

今年度も新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、開催いたしました。

【かわらばん】

地区内の各世帯に配布するチラシです。各回のワークショップ終了後、広報がまごおりとともに配布を行います。ワークショップでのご意見や検討された再配置プランなどをお知らせするとともに、ワークショップで検討されている内容についてのご意見を募集します。

4 ワークショップの概要

- ワークショップは、令和5年2月までに5回開催します。
- 原則として土曜日・日曜日に開催します。
- 会場は、原則として地区内の学校または公民館とします。
- 事務局は、蒲郡市総務部公共施設マネジメント課が担当します。
- ワークショップには、公募でご応募いただいた方が参加します。
- 同じ参加者に継続してご参加いただき、議論を深めていきます。
- ワークショップでは、参加者の皆様にグループ討議で自由にご議論いただきます。
- 一般の傍聴者や報道関係者が会議を傍聴することができます。

5 ワークショップの進め方

- グループ討議の運営では、円滑な議論のため、司会進行を第三者的立場のファシリテーターがお手伝いします。
- ワークショップでは、グループごとの議論を中心に進め、各回ワークショップの最後に各グループの議論の結果を発表します。
- グループ討議の議論は要点をまとめて記録します。これは個人の発言が特定されるものではありませんので、自由に前向きな議論をお願いします。
- 市に対する要望・陳情の場ではありません。
- ワークショップの様子をホームページ等で公表するなど情報発信を行います。話し合いの様子を記録する場合がありますをご了承ください。

6 ワークショップの成果

- ワークショップでのご意見を踏まえて複数の再配置プランを評価・比較し整理します。
- 整理した内容は、市が「地区個別計画」を策定する際の基礎情報として活用します。

7 ファシリテーターのご紹介

～こんにちは。皆さんの議論を円滑に進めるために、第三者的立場から議事進行やとりまとめをお手伝いします。どうぞよろしくお願いいたします。～

なばた めぐみ
名畑 恵

NPO 法人 まちの縁側育くみ隊

ふじもり みきひと
藤森 幹人

株式会社 対話計画

かつらやま としあき
葛山 稔晃

株式会社 対話計画

いなば ひさゆき
稲葉 久之

フリーランス・ファシリテーター

しらかわ よういち
白川 陽一

Keramago Works

8

ワークショップの参加にあたって

- 話し合いに積極的に参加しましょう
- 自分の考えを率直に述べましょう
- 前向きな思考で発言しましょう
- 評論家ではなく当事者として関わりましょう
- 他の参加者の意見に耳を傾けましょう
- 気持ちよく運営できるよう協力しましょう
- 議論や運営に貢献する姿勢を讃えましょう

(必要があれば追加しましょう)

第3回ワークショップの結果概要（案）

1 再配置プラン案について

1) A案「保育園の駐車場を確保するプラン」

【期待すること】

- 形原中学校と形原保育園は現在も交流があり、維持できる。
- 複合化により保育園の駐車場が確保でき、送迎がスムーズになる。
- 避難場所である中学校に保育園が併設しているので、災害時に園児がすぐに避難できるので安心。
- 公民館は新しいので移転する必要はない。
- 形原北小学校と形原北保育園、形原中学校と形原保育園は学校の仕切りを取り払うだけなので整備コストを抑えられる。

【不安なこと】

- 中学校と保育園の複合化のメリットは少ない。
- 中学校と保育園の複合化は安全を確保ができるか不安だ。
- 小学校に公民館機能が複合化されることはセキュリティの面で不安がある。
- 保育園の駐車場不足を解消するだけでアクセスの改善になるか疑問。送迎時を想定すると周辺環境（道路の混雑状況など）を改善するべきだろう。
- 公民館は高潮浸水区域にあり、災害を考えると現在の場所でよいのか疑問。移転したほうがよいのではないか。
- 児童館は長寿命化となっているが使い勝手も悪く、早めの建て替えを検討してほしい。

2) B案「子どもの交流の充実を図るプラン」

【期待すること】

- 小学校と保育園、児童クラブや地域連携拠点の複合化は多世代交流が出来てよい。
- 小学校を中心に2つの地域拠点がバランスよく配置されている。
- 保育園と児童クラブが同一敷地にあるのは送迎が楽になり、親の負担が軽減される。
- 小学校と保育園の複合化は子育て機能がまとまっていてよい。
- 駐車場不足を補うことが出来れば、最も優れた案だ。
- 公民館は新しいので移転する必要はない。

【不安なこと】

- 形原小学校に保育園機能を複合するのは敷地が狭く心配だ。
- 小学校に公民館機能が複合化されることはセキュリティの面で不安がある。
- 形原駅周辺は道も狭く駐車場を十分に確保できないのは心配だ。周辺の敷地で補うことはできないだろうか。
- 児童館は長寿命化となっているが使い勝手も悪く、早めの建て替えも検討してほしい。
- 公民館は高潮浸水区域にあり、災害を考えると現在の場所でよいのか疑問。移転したほうが良いのではないだろうか。

【提案】

- B'案として、公民館は建て替え時期になったら、地区の中心地である形原中学校・形原保育園の敷地に建設してはどうか。
- 支所跡地を駐車場にすることで駐車場問題を解消することができないか。
- 保育園バスやコミュニティバスを充実することで駐車場不足を補うことができる。

3) C案「多世代交流の拠点をつくるプラン」

【期待すること】

- 1か所に保育園・小学校・中学校があるので子供の交流や通学面で安心できる。
- 中学校・小学校・保育園・地域連携拠点が1か所にまとまっているので、多世代交流が十分に展開できる最もよい案だ。
- 防災の面から、公民館が現在の形原小学校敷地に移転する点が良い。
- 公民館が駅から近くなるので形原地区以外の人も通いやすくなる。
- 形原北小学校の児童の方が人数が多いので、中学校から合流することは大きな負担にはならないだろう。

【不安なこと】

- 形原中学校の敷地に保育園や小学校を複合するには、敷地が狭い（余裕がない）のではないだろうか。
- 地区の南側の児童は小学校が遠くなり、通学が不便になる。
- 登下校する児童・生徒が1か所に集中するだけでなく、車の混雑も起きて危険な可能性がある。
- 形原北小学校の児童が中学校から合流するのはなじめない子が出てしまいそうで好ましくない。
- 適正規模にある小学校と中学校を敢えて統合する必要があるのか。
- 形原北小学校の児童が中学校から合流するのは地域のパワーバランスとして難しい。

4) D案「保育環境の充実を図るプラン」

【期待すること】

- 形原小学校敷地に保育園があると駐車場が十分に確保出来て便利だ。
- 形原小学校敷地の保育園がプールなどを設置できて、ゆとりのある施設（保育園）となってよい。

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

- 形原小学校と形原中学校、形原北小学校と形原北保育園と、全体的にまとまっている印象がある。
- 公民館は新しいので移転する必要はない。
- 形原北小学校の児童の方が人数が多いので、中学校から合流することは大きな負担にはならないだろう。

【不安なこと】

- 小学校・児童クラブと保育園が離れるので送迎の負担がかかるが、駐車場に余裕があるならば問題はないかもしれない。
- 中学校に小学校が複合化されると十分な敷地は確保できるのだろうか。
- 公民館は高潮浸水区域にあり、災害を考えると現在の場所でよいのか疑問。移転したほうがよいのではないか。
- 児童館は長寿命化となっているが使い勝手も悪く、早めの建て替えも検討してほしい。
- 形原北小学校の児童が中学校から合流するのはなじめない子が出てくるので良くない。
- 適正規模にある小学校と中学校を敢えて統合する必要はないのではないかと。

【提案】

- 形原小学校に3つの保育園を集約するD'案はどうか。駐車場が広く、駅も近く便利。またより充実したサービスが期待できる。
- 形原駅前は一等地なので小学校にしておくのはもったいない。集客施設として整備するほうがよい。土地に余裕がある形北エリアに公共施設を集約するのはどうか。

5) 中学校を形原、形原北の両小学校に分ける案について (C、D案共通)

- 小中9年間教育を2か所に分ける案は承認できる。
- 子どもにとって環境や人間関係が変わらないことは好ましくない。

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

- 教育面を考えると、形原小学校と形原北小学校の児童は従来通り形原中学校で学んだ方がよい。
- 中学校の分割により各中学校の生徒数が減少し、地区の一体感が失われる。
- 形原北小学校に中学校が新設されると、鹿島地区の児童にとって塩津中学校より近くなり校区割の問題が生じて余計な混乱を生むのではないか。

6) 全案に共通すること

【公共施設の集約について】

- 公民館が小学校と一体化することで、多世代の交流を促すきっかけになる。
- 狭い敷地に公共施設を集約しすぎると、かえって不便になるのではない心配だ。
- 小中一貫校になり、同じ顔触れで 9 年間で過ごすことは必ずしもよいわけではない。
- 形原北小学校エリアの機能集約は、特に問題はない。
- 学校に公民館などの他機能が複合されることはセキュリティ面が不安だ。

【保育園に関すること】

- 形原南保育園は坂やがけ地でアクセスに難があり、いずれの案でも廃止となっていることに賛成である。
- いずれの案でも保育園が 2 園に減少しているが、自宅から近い場所にある方が送迎にも便利。3 園を維持する案も検討してはどうか。
- 保育園はサービスを維持しつつ 1 園に集約する考えがあってもよいのではないか。
- 保育園は延長保育や低年齢児保育などサービスの充足が必須である。
- 保育園の駐車場不足に対して、送迎バスを検討してはどうか。

【その他】

- 長寿命化しても設備更新は必要なので、長寿命化が万能なわけではない。
- 多様性や自主性を生み出し、いじめを軽減するために、小学校や中学校は行きたい学校を選べるシステムになるとよい。
- 児童館は高台にあり屋根もあるため避難場所としても機能するので、現状のまま残していくのがよいだろう。
- 特定の施設に関する要求を出すだけでなく、全体を考えながら折り合いをつけていく必要があるだろう。

2 評価の視点に対する意見

③ 子ども達の居場所づくり

- 『子どもたちのコミュニティ形成に寄与するか』を加えるのはどうか。

④ 地域の活性化

- 施設の再編に関わらず、地域の伝統行事を世代を超えて伝承していけるとよい。

⑤ 高齢者の活躍

- 『高齢者と子どもが交流できる』『部活動の指導を地域ぐるみで協力できるしくみがある』などがあるとよい。

⑥ 安全・安心

- 利便性を求めすぎて安全面が疎かにならないような視点も評価に盛り込むのがよい。

⑦ 利便性の向上

- 『子どもの通学距離や通学路の安全性』などを視点として加えるべきだ。

3 その他

- 各町内にある集会所がもっと活用される方策も検討するべきだ。
- 高齢者が活躍する機会を設けていければよい。
- 文化広場にも公民館機能を持たせるなど柔軟な利用が出来るようにしてほしい。
- （かわらばん 02 を見て）第 2 回で市担当者が説明した方針がワークショップ参加者が発議・承認したように読み取れ、誤解を与える。
- （前回のまとめ資料を見て）保育園の駐車場にベンチを置くというアイデアは親同士の交流に有効とあるが、話に夢中になり、子どもに目が行き届かなくなる可能性がある。
- （前回のまとめ資料を見て）支所跡地を博物館にするというアイデアがあるが、土地の有効活用を考えるなら駐車場などのほうが良いのではないか。
- 児童館や公民館の建物の寿命はどのくらいか。
- 小学校に設置される公民館活動などの活動拠点とはどういうものだろうか。職員（事務員）の配置などはどのようになるのか。

ふりかえりシートご意見

1 今日の議論で良かったこと

- 色々な意見・考えを聞き出すうえで、よくわかるように資料を作っていたと思います。限られた資源を有効に引き出せるよう、微力ですが活動していきたいと思います。
- たくさんの意見が出てよかったと思います。皆さん本当に形原のこと（特に子供）をよく考えていると思いました。
- グループの人数が少なかったので少し残念でしたが、いろんな意見が聞けて良かった。
- メンバーで議論することで ABCD 案から派生した新しいアイデアが見つかったり、形原の町をよくしていくプランが見つかったりと充実した時間を過ごせました。
- 小学校・児童クラブ・保育園をセット化する方向性が見られて良かった（B案）
- ABCD 案どの案も魅力的で少しの改善点でより良い施設ができあがりそうで楽しみです。
- 事務局の資料が参加者の考えもよく取り入れてありうまく作られている。
- 学校（校区）のうごきがたくさん聞かれたこと。人の動きを考えると難しくなる。
- 市が学校を集約しないといけないのだという現状に気づいた。
- A～D 案のいいところ・困るところ、具体的に話ができてよかった。
- 地域の活性化、高齢者の活躍に関して多方面の意見が多く出た。
- 4案が出されて具体的な話ができてよかった。
- 前回第2回を欠席していた為、今回の議論内容の進捗に向き合う事が必死でした。 ですがその分、内容も掘り下げられた意見が各グループにて行われていた事で理解出来たところや、さらなる地区まちづくりに向かっているん

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

だと実感しました。次回開催の第4回は仕事との兼ね合いですが是非出席したいと思っております。

- 良かったことではないが、この先も人口減少は更に続いて行く。お年寄りも大切ですが、未来ある子どもへの支援を考えたプランが一番。
- 慣れてきて活発な意見が出るようになったと思います。時間が短く感じました。

2 内容について言い足りなかったこと

- 小中学校・公民館等の移動の話は突然出された感じですが、押しつけは余りよくないと思います。地域の要望は駐車場の欠乏などですので、現状維持で OK。駐車場新設だけなら費用も少なく済むと思いますし考えてください。
- 施設集約的な発想が強く敷地面積拡大・新規移転の考え方は対象外なのか。
- もしできたらみんなで使える図工室・工作室みたいなものが欲しいです

ご質問等への回答

- 形原小学校に保育園機能を複合するのは敷地が狭く心配だ。(B案)
- 形原中学校の敷地に保育園や小学校を複合するには、敷地が狭い(余裕がない)のではないだろうか。(C、D案)

1つの敷地に複数の施設を集合する場合、必要な機能を満たす施設規模を定めた上で、敷地内に建設が可能であるか検証を行っています。各施設の基準となる規模は、以下のとおりです。

学 校：現状の児童生徒数に対応した規模

校庭は現在の小中学校トラックと同規模

保育園：2040年入所想定数に対応した規模

園庭については1,000㎡程度

公民館：学校と複合化する府相公民館と同規模

児童館：現在と同規模

建物配置を工夫したり、校舎は最大4階建て、園舎は2階建てとすることで、検証上では、すべてのプランにおいて配置が可能であると判断をしています。ただし、校庭については現在と同程度のトラックが確保できるものの、一部のプランでは校庭全体の広さは現在よりも狭くなる想定です。また、駐車場についても現在と同程度の駐車台数が確保できるかで検証を行っていますが、B案と本日新たに提示するB1案では別敷地において駐車場を確保する必要が生じます。

なお、実際の施設整備時には、必要機能や面積等について実際の利用状況や今後の児童生徒数の見通し等を踏まえて再度検討を行う必要があります。

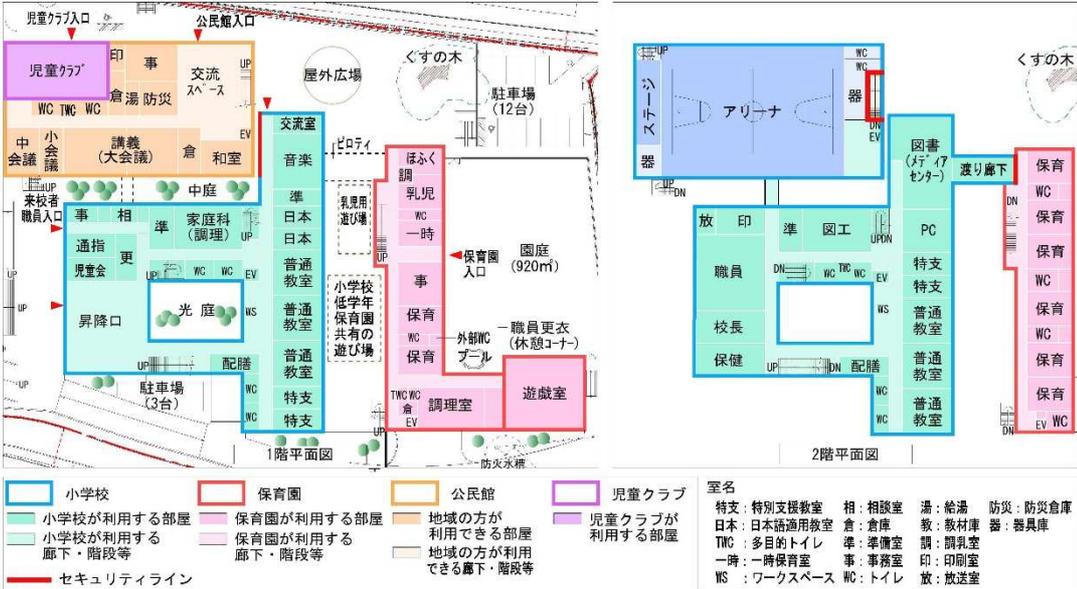
まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

● 学校に公民館などの他機能が複合されることはセキュリティ面が不安だ。

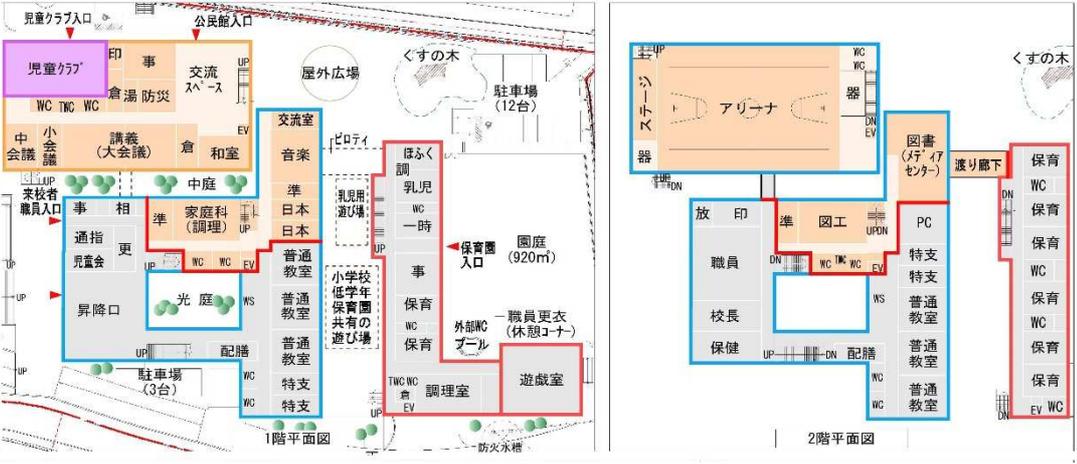
過去に開催したワークショップでも、今回いただいたご意見と同様に「学校と同一敷地に公民館等の利用者が出入りすることへのセキュリティ面の不安」といった懸念の声をいただきました。そこで、事業が先行している塩津地区や西浦地区では、授業中と放課後や休日等で2段階のセキュリティラインを設定することで、セキュリティの確保と地域活動、交流の活性化の両立を実現する計画としています。

※以下は塩津地区の小学校、公民館、保育園の複合施設の基本計画時の図面です。

○一般時（授業が行われている時間）



○一般開放時（放課後や土日祝）



- 小中学校・公民館等の移動の話は突然出された感じですが、押しつけは余りよくないと思います。地域の要望は駐車場の欠乏などですので、現状維持でOK。駐車場新設だけなら費用も少なく済むと思いますし考えてください。（振り返りシートより）

ワークショップではご指摘のように駐車場の確保に関するご意見を多くいただいておりますが、そのほかにも、世代間交流や保育サービスの向上、地域の活性化や災害時の安全性の確保など、様々なご意見をいただいております再配置プランは、こうしたワークショップでいただいたご意見をもとに作成しています。

しかし、全てのご意見を1つに反映した100点満点のプランをつくることは難しいため、たたき台として、事務局から複数のプラン案をみなさまに提示させていただき、その中でどの点を重視すべきか検討いただいております。また、提示しているプランの中から決定するという訳ではなく、ワークショップなどで更に利用しやすくなるなどのご提案をいただけましたら、追加案として次回提示することも可能です。お気づきの点などございましたら、ぜひご意見いただけますと幸いです。

- 保育園の駐車場不足を解消するだけでアクセスの改善になるか疑問。送迎時を想定すると周辺環境（道路の混雑状況など）を改善すべきだろう。

ご指摘いただいたとおり、施設へのアクセスという面では、駐車場の整備に限らず周辺道路の渋滞緩和なども重要な視点です。

しかし、アクセス面の向上という点において、今回の施設整備に関して寄与できるものとしては、施設に付随する駐車場の整備が最も関連性が深いと考え、評価をしています。

なお、例えば周辺道路へ渋滞が発生することを懸念し、敷地内の駐車場を設ける場所を考慮するなど個別対応は可能であると考えます。そういった施設運営上の懸案事項等につきましては、第5回のワークショップにおいて施設整備に

おける付帯事項として、検討していただく予定です。お気づきの点がありましたら、ご意見いただけますと幸いです。

- 適正規模にある小学校と中学校を敢えて統合する必要はないのではないか。

再配置プラン案を提示するにあたって、小中学校の集合に関するご意見はいただいておりますでしたが、公民館を高潮浸水想定区域外に移転したい、園庭や駐車場に余裕のある保育園を整備したい、といったご意見を受け、現在の形原小学校敷地を活用するために、形原小学校と中学校を集合させるプラン案をお示しました。

ご指摘のとおり、形原地区の小中学校は将来も適正規模を維持する見込みであり、規模適正化の対象にはなっておりません。その点は、P.29「グランドデザインの考え方に基づく各案の評価」において評価に反映していますので、ご確認ください。

- 保育園はサービスを維持しつつ1園に集約する考えがあってもよいのではないか。
- いずれの案でも保育園が2園に減少しているが、自宅から近い場所にある方が送迎にも便利。3園を維持する案も検討してはどうか。

共働き世帯の増加により、保育園を利用する方の利用方法が変化してきており、延長保育や低年齢児保育（0～2歳児）の利用ニーズが高まっています。他の地区同様、形原地区のワークショップでも「保育サービスの向上」を望むご意見をいただいています。

そういったニーズの変化も踏まえ、市内の保育園については、今後のあり方として『保育園グランドデザイン』を策定しました。その中では、保育園配置の考え方として、「一人ひとりの子どものきめ細やかな保育を実現しつつ、健全な成長・育ちの観点から集団保育を保證できる保育園の規模」として、概ね80～1

30人程度を「基準とする規模」としています。

形原地区では、将来の地区内の保育園の利用者数を、250人と見込んでおり、『保育園グランドデザイン』では、形原地区では3園を2園に集約するとしています。現在ある3園のうち、形原南保育園はアクセス面や安全性の面で懸念するご意見をいただいていることから、他の保育園に集約するプラン案を提示しています。

○形原地区の将来ニーズ

	0-5歳児計
2040年時点中学校区内保育園等入所数予想(①+②)	250
2040年時点中学校区内居住児童の入所ニーズ予想①	310
2040年時点他中学校区の民間園への入所予想②	▲60

(出典：蒲郡市公立保育園のあり方について(保育園グランドデザイン))

保育園を集約することにより、1園あたりの園児や保育士が増えることで、効率的なクラス編成が行うことができ、保育サービスの充実にもつながるといったことに加え、市の財政面においても建て替えと運営の両方の財政負担が軽減されるなどが見込まれます。

● 児童館や公民館の建物の寿命はどのくらいか。

かたはら児童館は平成3年度建設、形原公民館は平成21年度建設です。耐用年数としては、建設から概ね60～80年を想定しています。

● 小学校に設置される公民館活動などの活動拠点とはどういったものか。職員(事務員)の配置などはどのようになるのか。

「公民館活動・地域との連携拠点」は、学校・地域・公民館本館(形原公民館)等の橋渡しを行う機能を校舎内に設置し、地域の会合やサークル活動などで学校の特別教室や空き教室等を活用できる施設をイメージしています。

なお、職員配置などの運営詳細については未定であり、今後検討を進めていく予定です。

- 施設集約的な発想が強く敷地面積拡大・新規移転の考え方は対象外なのか。(振り返りシートより)

施設の集約は、新たな交流を生むきっかけになることを想定しています。例えば、今まで学校・公民館など単体で利用されていたものが一か所に集まることで、利用者同士のつながりをつくる契機となります。実際に、令和元年度に竹島小学校敷地内に移転した府相公民館では、小学生の発表会を公民館で行うなど、新しい利用や利用者同士の交流が生まれています。なお、B・B1案のように敷地を拡げないと駐車場の確保が難しいプランもご提示しています。

また、新規移転については、私有地の購入ということになりますが、将来的な売買の実現性が担保できないことと等を勘案し、現状の市が保有している土地での再配置プランを提示させていただいています。

- (かわらばん02を見て) 第2回で市担当者が説明した方針がワークショップ参加者が発議・承認したように読み取れ、誤解を与える。

第2回の様子をお伝えするかわら版について、誤解を生んでしまうような表記となってしまったこと、誠に申し訳ありませんでした。ホームページに掲載させていただいておりました、かわらばんデータにつきまして「市が公表した方針であること」を追記させていただきました。ご指摘いただき、ありがとうございました。

- 支所跡地を駐車場にすることで駐車場問題を解消することができないか。

旧支所(西部市民センター)跡地は、敷地面積約1,100㎡を有し、想定では、40台ほどの駐車場を確保できる計算になります。

ただし、旧支所跡地は、形原駅前ということもあり、地区の中でも今後の活用について多くの期待が寄せられている敷地であると認識しています。ご提案いただいた駐車場も含め、将来地区にとってどのような活用が望ましいのか検討を進めていきます。

- 文化広場にも公民館機能を持たせるなど柔軟な利用ができるようにしてほしい。

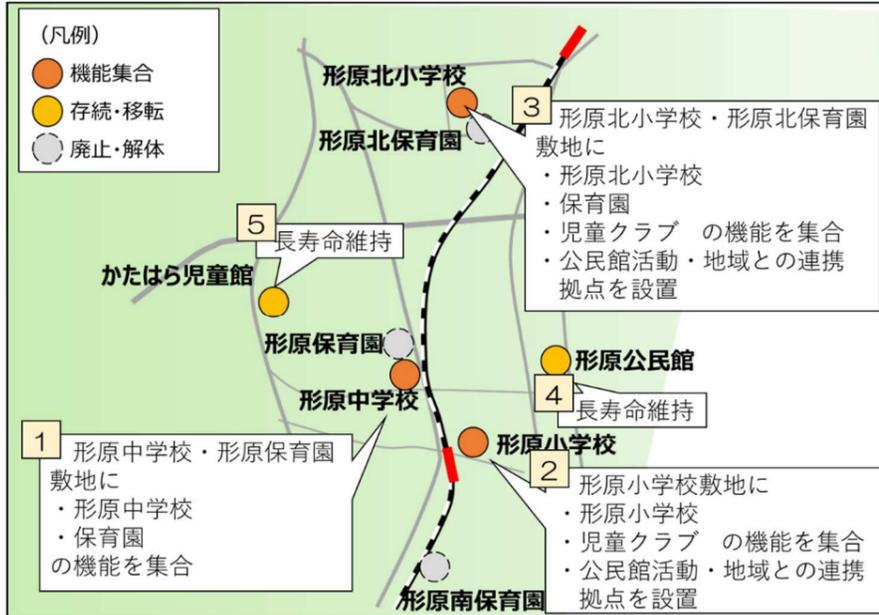
文化広場は市内全域の方が利用する「全市利用型施設」として整理しているため、今回のワークショップで検討いただいている対象施設に含まれていませんが、地区内にある身近な施設として、皆様にご利用いただいていると認識しています。施設の機能でも、地区の皆様が気軽に集まることができる会議室などがあり、公民館と類似している部分もあります。類似施設として利用面で留意すべきことなどございましたら、第5回目のワークショップの付帯事項にてご意見いただけますと幸いです。

A

保育園の駐車場を確保するプラン

【重点を置いた解決策】⑨

- 1 現在の形原中学校・形原保育園の敷地に、形原中学校、保育園の機能を集合します。
- 2 現在の形原小学校の敷地に、形原小学校、児童クラブの機能を集合、校内に公民館活動・地域との連携拠点を設置します。
- 3 現在の形原北小学校・形原北保育園の敷地に、形原北小学校、保育園、児童クラブの機能を集合、校内に公民館活動・地域との連携拠点を設置します。
- 4 形原公民館は、現地で長寿命化し維持していきます。
- 5 かたはら児童館は、現地で長寿命化し維持していきます。



特徴

- 小学校、中学校の敷地に保育園が集合することで、保育園のお迎え時の駐車場を確保できる。
- 形原中学校・形原保育園敷地に、中学校と保育園が集合することで、異年齢間の交流や災害時の連携に取り組みやすい。

【関連する解決策】①②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩

課題

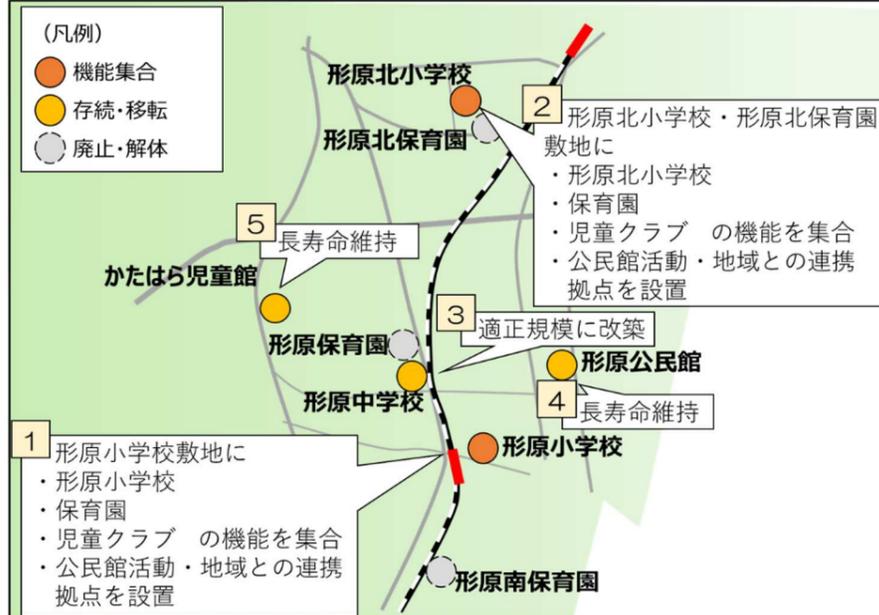
- 形原中学校敷地の保育園と形原小学校敷地の児童クラブが離れてしまうため、お迎えの負担が大きい。

B

子どもの交流の充実を図るプラン

【重点を置いた解決策】③

- 1 現在の形原小学校の敷地に、形原小学校、保育園、児童クラブの機能を集合、校内に公民館活動・地域との連携拠点を設置します。
- 2 現在の形原北小学校・形原北保育園の敷地に、形原北小学校、保育園、児童クラブの機能を集合、校内に公民館活動・地域との連携拠点を設置します。
- 3 形原中学校は、適正規模に改築します。
- 4 形原公民館は、現地で長寿命化し維持していきます。
- 5 かたはら児童館は、現地で長寿命化し維持していきます。



特徴

- 小学校、保育園が集合することで、異なる年齢間での交流が期待できる。
- 児童クラブと保育園が集合することで、お迎えの負担が軽減される。

【関連する解決策】①②③⑤⑥⑦⑧⑩

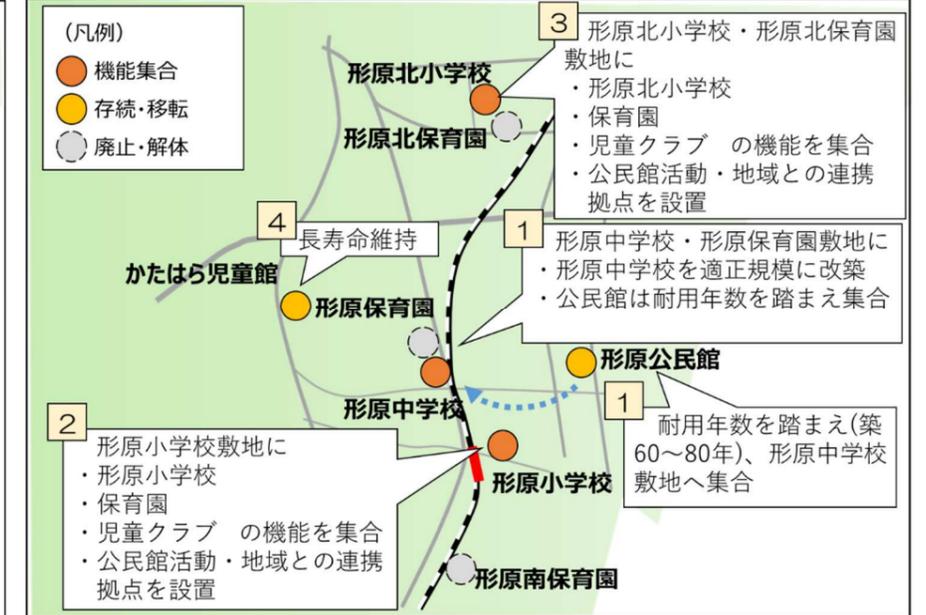
課題

- 周辺の敷地も考慮に入れないと、現在の形原小学校敷地だけでは駐車場が確保できない。

B1

B案の公民館を将来的に中学校へ集合するプラン

- 1 現在の形原中学校・形原保育園の敷地で、形原中学校を適正規模に改築します。公民館は耐用年数を踏まえ後から集合します。(平成21年度建設から60~80年を目安)
- 2 現在の形原小学校の敷地に、形原小学校、保育園、児童クラブの機能を集合、校内に公民館活動・地域との連携拠点を設置します。
- 3 現在の形原北小学校・形原北保育園の敷地に、形原北小学校、保育園、児童クラブの機能を集合、校内に公民館活動・地域との連携拠点を設置します。
- 4 かたはら児童館は、現地で長寿命化し維持していきます。



特徴

- 高潮浸水想定区域に建てられている公民館を、高台に移転できる。
- 地区の中心部に位置する中学校敷地に公民館が整備されることで、利便性が向上する。

課題

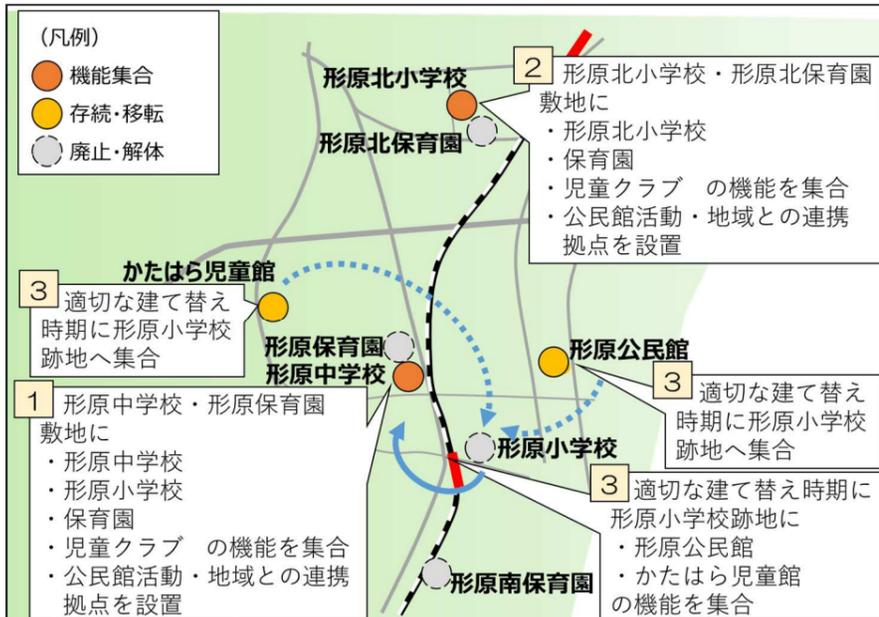
- 公民館は後から集合するため、機能配置などに工夫が必要であり、集合で期待される効果(配置や費用面)が充分に得られない可能性がある。
- 周辺の敷地も考慮に入れないと、現在の形原小学校敷地だけでは駐車場が確保できない。

C

多世代交流の拠点をつくるプラン

【重点を置いた解決策】①

- 現在の形原中学校・形原保育園の敷地に、形原中学校、形原小学校、保育園、児童クラブの機能を集め、校内に公民館活動・地域との連携拠点を設置します。
- 現在の形原北小学校・形原北保育園の敷地に、形原北小学校、保育園、児童クラブの機能を集め、校内に公民館活動・地域との連携拠点を設置します。
- 形原公民館、かたはら児童館は、適切な建て替え時期に形原小学校跡地へ集合します。



特徴

- 形原中学校・形原保育園敷地に、小中学校、保育園、児童クラブが集合することで、多世代交流の拠点が整備される。
- 将来的に公民館、児童館が集合することで、高齢者と子どもの交流拠点となる。

【関連する解決策】①②③⑤⑥⑦⑧⑨⑩

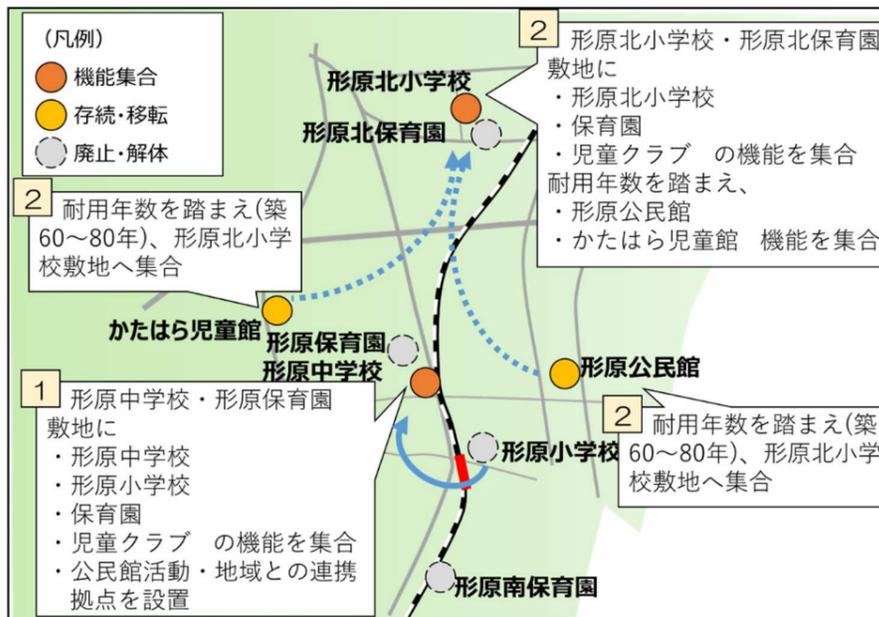
課題

- 現状の教育形態では、形原北小学校に通う児童は、中学校入学時から合流することになる。

C1

C案の児童館、公民館の集合先を変更するプラン

- 現在の形原中学校・形原保育園の敷地に、形原中学校、形原小学校、保育園、児童クラブの機能を集め、校内に公民館活動・地域との連携拠点を設置します。
- 現在の形原北小学校・形原北保育園の敷地に、形原北小学校、保育園、児童クラブの機能を集め、校内に公民館活動・地域との連携拠点を設置します。公民館、児童館は耐用年数を踏まえ後から集合します。
 (児童館：平成3年度建設、公民館：平成21年度建設から60～80年を目安)



特徴

- 将来的に形原北小学校、保育園、公民館、児童館が集合することで、高齢者と子どもの交流拠点となる。
- 形原駅近くの形原小学校跡地を、別用途での活用が可能となる。

課題

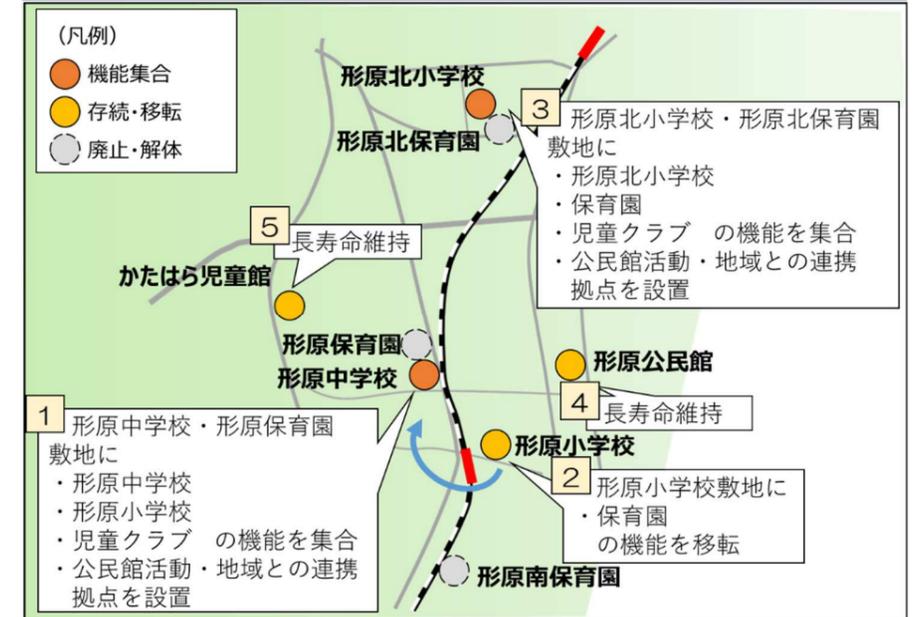
- 市街化調整区域(市街化を抑制すべき区域)に公民館と児童館を移転することになる。
- 現状の教育形態では、形原北小学校に通う児童は、中学校入学時から合流することになる。
- 公民館と児童館は後から集合するため、機能配置などに工夫が必要であり、集合で期待される効果(配置や費用面)が十分に得られない可能性がある。

D

保育環境の充実を図るプラン

【重点を置いた解決策】④

- 現在の形原中学校・形原保育園の敷地に、形原中学校、形原小学校、児童クラブの機能を集め、校内に公民館活動・地域との連携拠点を設置します。
- 現在の形原小学校敷地に、保育園の機能を移転します。
- 現在の形原北小学校・形原北保育園の敷地に、形原北小学校、保育園、児童クラブの機能を集め、校内に公民館活動・地域との連携拠点を設置します。
- 形原公民館は、現地で長寿命化し維持していきます。
- かたはら児童館は、現地で長寿命化し維持していきます。



特徴

- 形原小学校移転後の跡地を活用でき、駐車場や園庭などに余裕がある使いやすい保育園を整備できる。
- 形原中学校・形原保育園敷地で、中学校、小学校が集合することで、合同での行事実施など教育環境が充実する。

【関連する解決策】①②④⑥⑦⑧⑨⑩

課題

- 現状の教育形態では、形原北小学校に通う児童は、中学校入学時から合流することになる。
- 児童クラブと保育園が離れるため、お迎えの負担が大きい。

〈小中学校規模適正化方針〉

【標準規模・標準配置】

	標準規模	標準配置	
		通学距離	通学時間
小学校	12～18 学級	概ね 4 km	1 時間以内
中学校	9～18 学級	概ね 6 km	1 時間以内

→市の標準規模を下回る規模の学校は適正化に向けた検討を行う

【地区内の適正化検討対象校とその対応策】

○形原小学校

[令和2年] 普通学級数：12 学級 児童数：338 人
 [推計 (令和 22 年)] 普通学級数：12 学級 児童数：238 人

○形原北小学校

[令和2年] 普通学級数：16 学級 児童数：448 人
 [推計 (令和 22 年)] 普通学級数：12 学級 児童数：314 人

○形原中学校

[令和2年] 普通学級数：13 学級 児童数：433 人
 [推計 (令和 22 年)] 普通学級数：9 学級 児童数：290 人

→ 令和 22 年には、3 校とも蒲郡市の小・中学校の標準規模内と推計されています。

〈保育園ランドデザイン〉

【基本的な考え方】

- ・各地区、各保育園で統一的な保育サービス（低年齢児保育・延長保育）を実施できるよう適正配置について検討します。
- ・基準とする規模は、一人一人のきめ細やかな保育を実現しつつ、健全な成長・育ちの観点から集団保育を保證できる保育園の規模（概ね 80～130 人程度）とします。

【形原中学校区における考え方】

○ 将来ニーズの予想

	0-5歳児計
2040年時点中学校区内保育園等入所数予想(①+②)	250
2040年時点中学校区内居住児童の入所ニーズ予想①	310
2040年時点他中学校区の民間園への入所予想②	▲60

○ 今後のあり方

- ・現在の公立保育園を 3 園から 2 園に集約します。2040 年時点の中学校区内保育園等入所数予想は 250 人程度であり、仮に 2 園に集約した場合でも、1 園当たり 125 人規模となり、基準とする規模内です。
- ・保育園の集約を行うことで、効率的なクラス編成を行うことができ、保育サービスの充実につなげることができます。

〈蒲郡市立小中学校における小中一貫教育の推進について〉

【小中一貫教育の導入の方向性】

子どもたちの教育を地域とともに考え、地域の特色を生かした教育課程を柱とし、小中学校が目指す子どもの姿を共有しながら、すべての小中学校区において、地域とともに義務教育の9年間を通じた教育活動を行っていく。

【小中一貫教育の形態】

○義務教育学校

一人の校長の下に一つの教職員集団が9年間一貫した教育課程を編成し実施する。

○併設型小学校・中学校

設置者が同じ学校（小学校、中学校）が9年間一貫した教育課程を編成し実施。同一敷地内あるいは隣接する敷地内の学校が連携しながら小中一貫教育を進める場合（施設一体型）と、離れた敷地に設置された小中学校が連携して教育活動を実施する場合（施設分離型）がある。

○連携型小学校・中学校

設置者（教育委員会等）が異なる学校が連携して一貫した教育を行う学校。（例 市町村立小学校と組合立中学校 等）

〈公民館ランドデザイン〉

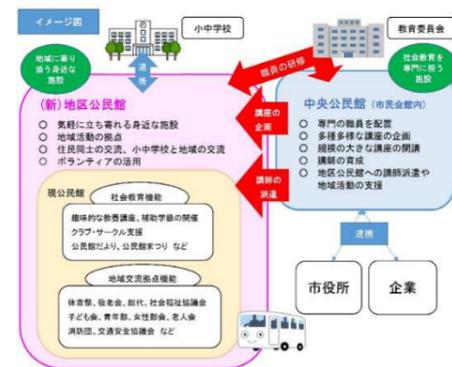
【目指すべき公民館の姿】

公民館の機能を2つに分け、それぞれの機能を十分に発揮させます。

① 社会教育機能（学習機能）を果たす「中央公民館」

② 地域交流拠点機能（地域と人のつながり）を果たす「地区公民館」

※ 地区公民館建替の際には可能な限り小学校との複合化を検討する。



【形原地区の公民館の配置に関する考え方】

地区内に小学校は形原小学校と形原北小学校の2校ありますが、地区コミュニティの分断を避けるため、この地区に配置する公民館の数は1館が相当とします。

評価の視点についてのご意見への回答

評価の視点に関していただいたご意見について、以下のとおり評価項目に反映しました。

ご意見	回答
<p>・『子どもたちのコミュニティ形成に寄与するか』を加えるのはどうか。 【視点③子ども達の居場所づくり】</p>	<p>○項目キ「異年齢の子ども達が交流しやすい施設配置となっているか。」及び項目ク「子ども達の居場所に選択肢があるか。」に含まれるものとして整理しました。</p>
<p>・施設の再編に関わらず、地域の伝統行事を世代を超えて伝承していきけるとよい。 【視点④地域の活性化】</p>	<p>○項目コ「地域への愛着を育み、地域の伝統継承や担い手の育成に寄与するか。」で評価しました。</p>
<p>・『高齢者と子どもが交流できる』『部活動の指導を地域ぐるみで協力できるしくみがある』などがあるとよい。 【視点⑤高齢者の活躍】 【視点①多様な人々との交流】</p>	<p>○項目シ「高齢者が子ども達の活動を支えられる施設配置となっているか。」及び項目ア「多様な方との交流が行いやすい施設配置となっているか。」で評価しました。</p>
<p>・利便性を求めすぎて安全面が疎かにならないような視点も評価に盛り込むのがよい。 【視点⑥安全・安心】</p>	<p>○項目タ「交通安全に配慮された施設配置となっているか。」で評価しました。</p>
<p>・『子どもの通学距離や通学路の安全性』などを視点として加えるべきだ。 【視点⑥安全・安心】 【視点⑦利便性の向上】</p>	<p>○項目タ「交通安全に配慮された施設配置となっているか。」及び項目チ「通学しやすい施設配置となっているか」で評価しました。</p>

再配置プラン案の評価検証

1 再配置プラン案を比較評価するための評価軸

視 点	内 容	評価項目
① 多様な人々との交流	<ul style="list-style-type: none"> ● 多世代交流ができる場は整備されているか。 ● 若い世代や外国人が集まる場所は整備されているか。 	ア 多様な方との交流が行いやすい施設配置となっているか。(施設の位置関係で評価) イ 若者・外国人などが利用しやすい施設配置となっているか。(公民館・児童館と他の施設の位置関係で評価)
② 子育てしやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 低年齢児保育や延長保育など保育サービスは向上するか。 ● 保育園の利便性は確保されているか。 	ウ 低年齢児保育などの保育サービスを向上させる規模・配置となっているか。(保育園の規模の見込で評価) エ 子ども達の送迎がしやすい施設配置となっているか。(保育園と児童クラブの位置関係で評価) オ 保育園は自動車を利用しやすいよう整備されているか。(駐車場の確保可能性で評価) カ 校庭・園庭の広さは確保されているか。(校庭・園庭の確保可能性で評価)
③ 子ども達の居場所づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 子ども達の居場所・遊び場は確保されているか。 ● 子ども達の交流機会は確保されているか。 	キ 異年齢の子ども達が交流しやすい施設配置となっているか。(学校と保育園の位置関係で評価) ク 子ども達の居場所に選択肢があるか。(公民館・児童館等が配置される位置の数で評価) ケ 教育環境への影響はないか。(学校の位置関係で評価)
④ 地域の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の伝統継承や担い手の育成に寄与する施設配置となっているか。 ● 地域への愛着を育む施設配置となっているか。 	コ 地域への愛着を育み、地域の伝統継承や担い手の育成に寄与するか。(公民館等と学校の位置関係で評価) サ 地域(形原小と形原北小学区)バランスの考慮は出来ているか。(施設の位置関係で評価)
⑤ 高齢者の活躍	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者の居場所が確保されているか。 ● 高齢者のスキルを発揮できるような施設配置となっているか。 	シ 高齢者が子ども達の活動を支えられる施設配置となっているか。(公民館等と学校・児童館の位置関係で評価) ス 活動場所がより多く確保されているか。(公民館等の数で評価)
⑥ 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通安全に配慮した施設配置となっているか。 ● 災害時の安全性は確保できているか。 	セ 災害時に被災しにくい施設配置となっているか。(公民館の位置で評価) ソ 災害時に避難しやすい施設配置となっているか。(学校が配置される位置の数で評価) タ 交通安全に配慮された施設配置となっているか。(学校と保育園の位置関係で評価)
⑦ 利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 駐車スペースは確保されているか。 ● バリアフリーに配慮された施設は整備されているか。 	チ 通学しやすい施設配置となっているか。(小学校の周辺年少人口及び通学距離で評価) ツ 駐車スペースは確保されているか(保育園を除く)。(駐車場の確保可能性で評価) テ バリアフリーに配慮された施設配置となっているか。(施設内の駐車場の位置関係で評価)
⑧ 効率的な施設配置	<ul style="list-style-type: none"> ● 維持更新費用・運営費用は縮減されているか。 	一定期間の施設にかかる総コストが低いものを評価する。 ・面積が小さいなど、建替え・改築費・改修費・修繕費が安価な場合は総コストが低くなる。 ・土地の売却や借地の返還が発生する場合は、総コストが低くなる。 ・面積が小さいなど、建物の維持管理費(光熱費・保守点検費等)が安価な場合は総コストが低くなる。

2 皆さまから頂いたご意見に基づく評価

- 視点①～⑦については、評価項目ごとに ◎：現状より向上、○：現状維持もしくは一長一短がある、△：現状より低下 の3段階で評価します。
- 視点⑧については、LCC（ライフサイクルコスト）の試算における50年間の縮減額に基づき評価します。（試算の結果及び条件等は別冊資料「項目ごとの評価の解説」p.11～12のとおり。）

視 点	評 価 項 目	A案	B案	B1案	C案	C1案	D案
① 多様な人々との交流	ア 多様な方との交流が行いやすい施設配置となっているか。（施設の位置関係で評価）	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	イ 若者・外国人などが利用しやすい施設配置となっているか。（公民館・児童館と他の施設の位置関係で評価）	○	○	◎	◎	◎	○
② 子育てしやすい環境づくり	ウ 低年齢児保育などの保育サービスを向上させる規模・配置となっているか。（保育園の規模の見込で評価）	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	エ 子ども達の送迎がしやすい施設配置となっているか。（保育園と児童クラブの位置関係で評価）	○	◎	◎	◎	◎	○
	オ 保育園は自動車で利用しやすいよう整備されているか。（駐車場の確保可能性で評価）	◎	○	○	◎	◎	◎
	カ 校庭・園庭の広さは確保されているか。（校庭・園庭の確保可能性で評価）	○	△	△	△	△	○
③ 子ども達の居場所づくり	キ 異年齢の子ども達が交流しやすい施設配置となっているか。（学校と保育園の位置関係で評価）	◎	◎	◎	◎	◎	○
	ク 子ども達の居場所に選択肢があるか。（公民館・児童館等が配置される位置の数で評価）	◎	◎	◎	△	△	◎
	ケ 教育環境への影響はないか。（学校の位置関係で評価）	○	○	○	△	△	△
④ 地域の活性化	コ 地域への愛着を育み、地域の伝統継承や担い手の育成に寄与するか。（公民館等と学校の位置関係で評価）	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	サ 地域（形原小と形原北小学区）バランスの考慮は出来ているか。（施設の位置関係で評価）	○	○	○	△	△	△
⑤ 高齢者の活躍	シ 高齢者が子ども達の活動を支えられる施設配置となっているか。（公民館等と学校・児童館の位置関係で評価）	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	ス 活動場所がより多く確保されているか。（公民館等の数で評価）	◎	◎	◎	◎	◎	◎
⑥ 安全・安心	セ 災害時に被災しにくい施設配置となっているか。（公民館の位置で評価）	○	○	◎	◎	◎	○
	ソ 災害時に避難しやすい施設配置となっているか。（学校が配置される位置の数で評価）	○	○	○	△	△	△
	タ 交通安全に配慮された施設配置となっているか。（学校と保育園の位置関係で評価）	△	△	△	△	△	○
⑦ 利便性の向上	チ 通学しやすい施設配置となっているか。（小学校の周辺年少人口及び通学距離で評価）	○	○	○	△	△	△
	ツ 駐車スペースは確保されているか（保育園を除く）。（駐車場の確保可能性で評価）	○	△	△	△	△	△
	テ バリアフリーに配慮された施設配置となっているか。（施設内の駐車場の位置関係で評価）	○	△	△	○	○	○
⑧ 効率的な施設配置	LCC（ライフサイクルコスト）試算における50年間の縮減額（単位：百万円）	2,737	2,737	2,869	5,141	5,773	4,927
	◎の個数	8	8	10	10	10	7
	○の個数	10	7	5	1	1	7
	△の個数	1	4	4	8	8	5
<参考> I 視点①～⑦についての評価(75点満点)		51.32	45.39	49.34	41.45	41.45	41.45
<参考> II 視点⑧についての評価 (25点満点)		11.85	11.85	12.42	22.26	25.00	21.34
<参考>合計 (I + II) (100点満点)		63.17	57.24	61.76	63.71	66.45	62.79

<参考>点数の算出方法

- 視点①～⑦については、各評価項目の ◎=2点、○=1点、△=0点として足し合わせ、75点に得点割合を乗じた値を下表のIにまとめました。
- 視点⑧については、50年間のLCC（ライフサイクルコスト）の縮減額の最も高い案を25点とし、その他の案は縮減額に比例して減点した値を下表のIIにまとめました。
- IとIIを足し合わせ100点満点で合計を計算しました。

3 グランドデザインの考え方に基づく各案の評価

- 評価項目ごとに ◎：各方針の考え方と整合している、○：各方針の考え方と概ね整合している、△：各方針の考え方と異なっている の3段階で評価します。

評価項目		A案	B案	B1案	C案	C1案	D案	
小学校	1 小学校は標準規模の範囲に収まっているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	2 小学校の通学距離・時間は基準とする範囲に収まっているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	3 地区内の施設配置は方針で推奨されている適正化に向けた対応策に基づく配置となっているか。	◎	◎	◎	△	△	△	
中学校	1 中学校は標準規模の範囲に収まっているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	2 中学校の通学距離・時間は基準とする範囲に収まっているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	3 地区内の施設配置は方針で推奨されている適正化に向けた対応策に基づく配置となっているか。	◎	◎	◎	△	△	△	
公民館	1 地域と人をつなぐ公民館となっているか。	◎	◎	◎	○	△	◎	
	2 青少年が地域との交流活動に参加しやすいか。	○	○	◎	○	○	○	
	3 学校との連携がしやすい環境が整備されているか。	○	○	○	○	◎	○	
	4 地区内に配置されている公民館数がグランドデザインに合致しているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
保育園	1 集団保育を保證できる規模を維持できるか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	2 費用負担の軽減が見込まれるか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	3 地区内に配置される保育園数がグランドデザインに合致しているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	4 保育サービスの統一が図られているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		◎の個数	3	3	3	2	2	2
		○の個数	0	0	0	0	0	0
		△の個数	0	0	0	1	1	1
		◎の個数	3	3	3	2	2	2
		○の個数	0	0	0	0	0	0
		△の個数	0	0	0	1	1	1
		◎の個数	2	2	3	1	2	2
		○の個数	2	2	1	3	1	2
		△の個数	0	0	0	0	1	0
		◎の個数	4	4	4	4	4	4
		○の個数	0	0	0	0	0	0
		△の個数	0	0	0	0	0	0
＜参考＞各案の評価		(100点満点)	93.75	93.75	96.88	73.96	73.96	77.08

＜参考＞点数の算出方法

- ・小学校、中学校、公民館、保育園の4施設それぞれの得点を25点ずつとして、100点満点で評価しました。
- ・各施設の評価項目の ◎=2点、○=1点、△=0点として足し合わせ、それぞれ25点に得点割合を乗じた値を下表にまとめました。

本日の検討内容

前回のご意見を反映させ作成した追加案を加えた合計6つの再配置プラン案をご意見にもとづく「評価の視点」を踏まえて評価しました。

評価の内容について修正点や配慮すべき点などはありませんか。

次回ワークショップのご案内

「第5回形原地区まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ」を以下のとおり開催いたしますので、ご参加下さいますようお願いいたします。

1 日時

令和5年2月26日（日）

午後1時30分～午後4時30分（受付開始時刻 午後1時15分）

2 お願い

- ・ ご欠席の場合は、2月16日（木）までに事務局へご連絡ください。
- ・ 次回ワークショップの資料を郵送で事前に配布いたしますので、届きましたら資料に不足がないかご確認ください。

【ワークショップ事務局】

蒲郡市総務部公共施設マネジメント課

担 当：上田・尾崎・上酔尾

電 話：0533-66-1214

ファクス：0533-66-1183

E-mail：k-mane@city.gamagori.lg.jp